

主の教え②愛の学校

ルカによる福音書6:27-38

2011、6、5 HKJCF

I 概要

序)①砂漠の文化「隣人を愛し、敵を憎め」(マタイ5:43、レビ19:18)②ローマ帝国での初代教会
③北欧の国々、MLK、アーミシュの人々の実例
④愛の学校(広さ・長さ・高さ・深さ:エペソ3:18)

1、愛の広さ・長さ	27-34
2、愛の高さ・深さ	35-37
3、愛の主体性	38

II 愛の広さ・長さ 27-34

- 1、敵(憎む者)を愛(親切に)せよ
 - 2、呪う(辱める)者を祝福(祈りを)せよ
 - 3、求める者に与え、奪う者から取り戻すな
 - 4、返してもらうつもりで貸すな
- ⇒敵をつくらず、祈り、祝福し、あなたのして欲しいと望むことを人々にせよ

III 愛の高さ・深さ 35-37

- 1、愛の報いを直接人に期待しないこと
 - 2、真の報いは、神の子、神の家族となること
 - 3、報いはもっと愛す為、父の人格に与ること
 - 4、愛は報いを求めず与えること、人を裁かず自らを吟味すること
- ⇒律法主義ではなく、神の子として、天の父の憐み深いみ心を知ること I コリント13:4-7

IV 愛の主体性 38

- 1、自分から与えよ(主体的な愛の拡大再生産)
 - 2、気前よく(寛大な基準で、記録せず)与えよ
 - 3、自分の選ぶ量り(基準)は自分に適用される
- ⇒神の子の恵みを実感し、豊かな人生を送り、自らの人生を完成させる 秘訣) 奪う→与える
- 1、マタイ18:21-35「無限に赦された人」の譬え
 - 2、ルカ16:1-8「世慣れた執事」の譬え

V 適用

- 1、イエス様の十字架の赦しの愛を実感する
 - 2、信仰生活を礼拝・交わり・奉仕から苦手な人、自分を嫌う人、利害関係が反する人への祈りと愛へ広げる(祝福の祈りから霊のストレッチへ)
 - 3、無関心(傲慢)と自分中心の罪を悔い改める
- ⇒一人でも多くの人の救いと愛、人生の完成
「私には囲いの外の羊がいる」(ヨハネ10:16)